

科目名	電気工事士		担当講師	山田 茂雄	
講師実務経験	本校 音楽放送芸術専門学校 電気工事士講師歴 11年				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態 講義/演習
期間	5期・6期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
5期	第2種電気工事士の資格取得をを目標として、筆記試験の知識を修得する。				
6期	第2種電気工事士の資格取得をを目標として、技能試験の技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日	筆記試験 過去問題を解く (配線図記号の関連ん問題)			
2	4月25日	筆記試験 過去問題を解く (器具・材料と工具の関連問題)			
3	5月9日	筆記試験 過去問題を解く (配線設計と電気工事の関連問題)			
4	5月16日	筆記試験 過去問題を解く (検査方法、法令の関連問題)			
5	5月23日	筆記試験 過去問題を解く (電灯配線と複線図の関連問題)			
6	5月30日	筆記試験 過去問題を解く (電気の基礎理論の関連問題)			
7	6月6日	技能試験の為の基本作業 (基本回路の複線図を描く)			
8	6月13日	技能試験の為の基本作業 (ケーブルの切断とはぎ取り、加工作業))			
9	6月20日	技能試験の為の基本作業 (輪づくり、レセプタクルの結線作業)			
10	6月27日	技能試験の為の基本作業 (スイッチ類、コンセントへの結線作業)			
11	7月4日	技能試験の予測候補問題の作業実習			
12	8月22日	技能試験の予測候補問題の作業実習			
13	8月29日	技能試験の予測候補問題の作業実習			
14					
15					
評価方法	定期試験点数(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽Ⅱ		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	楽曲を聞き拍子を理解し進行記号を用いて譜割ができる力を修得する。				
6期	譜割した譜面を音楽物の照明オペレートに活用できる力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日	授業ガイダンス、小節(縦線、複縦線、終止線)・拍子・の復習			
2	4月25日	譜割・練習曲① 4/4			
3	5月9日	譜割・練習曲② 4/4			
4	5月16日	4/4 譜割テスト・課題曲。			
5	5月23日	譜割・練習曲① 3/4			
6	5月30日	譜割・練習曲② 3/4			
7	6月6日	3/4 譜割テスト・課題曲。			
8	6月13日	譜割・練習曲① 6/8			
9	6月20日	譜割・練習曲② 6/8			
10	6月27日	6/8 譜割テスト・課題曲。			
11	7月4日	譜割用・各個人の楽曲選考			
12	8月22日	譜割①・各個人楽曲			
13	8月29日	譜割②・各個人楽曲、定期試験対策			
14					
15					
評価方法	定期試験点数(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
	成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	舞台照明Ⅲ		担当講師	笹出 将太	
講師実務経験	照明音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	19 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	実際の現場に必要な知識や技術を修得する。				
6期	自主性を高め、応用力と適時適切な判断力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1・2	4月19日	ライブ実習準備、ライブ実習①			
	4月21日				
3	4月26日	新入生歓迎ライブ仕込み			
4	5月10日	新入生歓迎ライブ打ち込み、チェック			
5	5月17日	時間を意識した実践的な動き方について			
6・7	5月24日	ライブ実習準備、ライブ実習②			
	5月26日				
8	5月31日	仕込みトレーニング			
9	6月7日	フォーカストレーニング			
10・11	6月14日	ライブ実習準備、ライブ実習③			
	6月16日				
12・13	6月21日	ライブ実習準備、ライブ実習④			
	6月23日				
14・15	6月28日	ライブ実習準備、ライブ実習⑤			
	6月30日				
16・17	7月5日	ライブ実習準備、ライブ実習⑥			
	7月7日				
18	8月23日	実技試験、筆記試験対策			
19	8月30日	定期公演リハ仕込み			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	114時間中39時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	CAD実習Ⅱ		担当講師	佐藤 直子	
講師実務経験	建築士.インテリアコーディネーター				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態
期 間	5・6期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	基本操作+応用ツール .立体を理解し3Dび操作 図面の種類と必要性について理解し修得する。				
6期	図面の種類と必要性について理解し修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月20日	授業ガイダンス			
2	4月27日	図形製作(建具等)によるツール操作等確認			
3	5月18日	レイヤー機能について. 寸法線カスタマイズ			
4	5月25日	グリッドについて 課題(グリッド機能を利用した図面の作り方)			
5	6月1日	壁ツールについて 課題1(壁ツールを利用した間取り製作)			
6	6月8日	課題1			
7	6月15日	課題2(壁ツールを利用)			
8	6月22日	課題2(壁ツールを利用)			
9	6月29日	平面図.立面図.展開図(図面の種類について)			
10	7月6日	データの取り出しと変換について			
11	8月17日	他ソフトとの互換性について			
12	8月24日	課題(イラストレータ.Photoshopの利用の仕方)			
13	8月31日	過去のデータを利用したPlan制作について(課題) まとめ			
14	-				
15	-				
評価方法	【C】 実技修得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	TV照明Ⅱ		担当講師	竹平 耕一	
講師実務経験	放送関連会社勤務、照明デザイナー				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	音楽番組の照明プランニングについて修得する。				
6期	ドラマのロケーションや中継番組などの照明プランニングについて修得する。 会館・ホールやドーム・中継設備などを見学・研修し理解を深め修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月20日	授業ガイダンス。照明家の仕事について 音楽番組の実際の作品(DVDなど)を見てプランニングを考える			
2	4月27日	音楽番組やドラマなどのプランで、水鏡を出す手法について 音楽番組における、キーライト(心理描写)、オサエ(SS)などの考え方			
3	5月18日	音楽番組などのプランで、ヘロ、メラのタッチをホリに描く手法について			
4	5月25日	音楽番組などのプランで、夕陽・夕焼けなどを描く手法について			
5	6月1日	音楽番組などのプランで、様々な影をフロアーに描く手法について			
6	6月8日	音楽番組などのプランで、炎などを描く手法について			
7	6月15日	音楽番組などのプランで、動きのある影などを描く手法について			
8	6月22日	ドラマなど、屋内のロケーションのプランニング・技法について			
9	6月29日	ドラマなど、屋外のロケーションのプランニング・技法について			
10	7月6日	スポーツ中継番組(ゴルフやジャンプなど)やドラマのロケーションなどで 外景を生かした映像のプランニング・技法について			
11	8月17日	会館・ホールの舞台設備などの見学・研修			
12	8月24日	札幌ドームの中継設備などの見学・研修			
13	8月31日	5期6期の総括および試験対策			
14					
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	照明概論Ⅱ		担当講師	笹出 将太	
講師実務経験	照明音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	照明ビジネスを理解しコミュニケーション能力を修得する。				
6期	照明を多方面からプランニングし、応用力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンス。新歓ライブ体制決定			
2	4月28日	新入生歓迎ライブ打ち合わせ、データ打ち込み			
3	5月19日	新入生歓迎ライブ反省会、照明ビジネスについて			
4	6月2日	各プランニングについて			
5	6月9日	オペレーターについて、照明業務について			
6	8月18日	定期公演体制決定			
7	8月25日	試験対策			
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	定期試験点数(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
	評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	28時間中10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	システム構築 I		担当講師	笹出 将太	
講師実務経験	照明音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング専攻		授業形態 講義
期 間	5期・6期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間 90 分	
期	修 得 目 標				
5期	ネットワークの基礎知識と通信の基礎を理解し修得する。				
6期	照明ネットワークを構築し、近代システム構築を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンス。ネットワーク用語について			
2	4月28日	IPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスについて			
3	5月19日	周辺機器について			
4	6月2日	各イーサネットプロトコルについて、通信方式について			
5	6月9日	照明ネットワーク構築について、照明ネットワークのトラブルシューティングについて			
6	8月18日	各システムを使用したショーの再生について			
7	8月25日	試験対策			
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	定期試験点数(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
	評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	機材メンテナンス		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	各専攻		授業形態 実技
期 間	5期・6期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
5期	各種工具等の正しい使用法を修得する。				
6期	簡単な機材の修理・メンテナンスの方法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	授業ガイダンス、使用工具等、ケーブル、コネクタのメンテナンスについて			
2	4月22日	ケーブルのメンテナンス①			
3	5月6日	ケーブルのメンテナンス②			
4	5月20日	ケーブルのメンテナンス③			
5	5月27日	DMX、3Pキャノンケーブルのメンテナンス①			
6	6月3日	DMX、3Pキャノンケーブルのメンテナンス②			
7	6月10日	DMX、3Pキャノンケーブルのメンテナンス③			
8	6月17日	DMX、3Pキャノンケーブルのメンテナンス④			
9	6月24日	アナログ照明機材メンテナンスについて			
10	7月1日	照明機材のメンテナンス①			
11	7月8日	照明機材のメンテナンス②			
12	8月19日	照明機材のメンテナンス③			
13	8月26日	定期試験対策			
14					
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技習得度(70平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	2年A,B組		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動を進める上で必要な知識を修得する。				
6期	活動の幅を持って就職内定を勝ち取る為のスキルを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	授業ガイダンス 応募書類の確認/就職活動計画			
2	4月22日	自己PR、志望動機作成対策①			
3	5月6日	面接のポイント①/面接対策実践①			
4	5月20日	オンライン面接について			
5	5月27日	メールの送り方			
6	6月3日	作文対策①			
7	6月10日	企業研修について(研修書類の説明含む)			
8	6月17日	自己PR、志望動機作成対策②			
9	6月24日	東京企業について			
10	7月1日	就職活動計画の見直し			
11	7月8日	面接のポイント②/面接対策実践②			
12	8月19日	受験促進、企業情報の提供(各業種)/受験の流れ確認			
13	8月26日	作文対策②			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	13時間中5時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	時事研究		担当講師	國本 昌秀	
講師実務経験	元HTB北海道テレビ勤務（記者・デスク、ディレクター、プロデューサーなど）				
対象学年	2 学年	対象専攻	2年A,B組		授業形態 講義
期 間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間 45 分	
期	修 得 目 標				
5期	ニュース・時事問題に関心を持ち、読み解く力を修得する。				
6期	ニュース・時事問題を読み解くことで、日常生活の思考・行動に活用する力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	授業ガイダンス・ニュースとは何か			
2	4月22日	18歳成人について			
3	5月6日	ウクライナ問題について			
4	5月20日	沖縄復帰50周年について			
5	5月27日	直近のニュースについて			
6	6月3日	動物愛護法改正について			
7	6月10日	参院選挙について			
8	6月17日	直近のニュースについて			
9	6月24日	直近のニュースについて			
10	7月1日	直近のニュースについて			
11	7月8日	参院選挙について			
12	8月19日	札幌市100年について			
13	8月26日	講義振り返り			
14					
15					
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業でプリント配布				
注意事項	13時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				